

校長室だより



豊川市立東部小学校

令和3年11月16日

6年生修学旅行（奈良・京都）



「見て！聴いて！五感で感じるHistory！～82人の笑顔を絶やさずに～」

6月から延期となっていた6年生の修学旅行を、10月27日（水）～28日（木）に実施しました。今年もコロナ感染症対策として、全行程をバスでの移動としました。2日目の京都見学に向けては、子どもたちがいろいろな見学候補場所について調べ、クラスごとに訪問場所を決めました。1組は三十三間堂や金閣寺・二条城・清水寺、2組は北野天満宮や金閣寺・清水寺・伏見稲荷大社に行きました。夜は旅館で、清水焼の絵付け体験をしました。あらかじめ考えたおいて下絵をもとに、彩料を筆でていねいに塗っていました。旅行全体を通じて、高学年らしい「気遣い」がたくさん見られ、「さすがは東部小6年生」と感じました。他の子のスリッパまで進んで揃えている姿、一般のお客さんを気遣いながら見学する姿、お世話になっている大人に丁寧にお礼の声を掛ける姿など、後輩たちにも伝えていきたい姿がたくさんありました。メモをとりながら真剣に話を聞く姿は、バスガイドさんにも褒めていただきました。



5年「にじ活」

中止になった宿泊学習の代わりとして、10月20日（水）に「校内野外活動（にじ活）」を実施しました。アルミ缶を使った炊飯活動では、風が強くて火が着かなかったり、コンロにする下の段のアルミ缶が潰れてしまったりと、大苦戦しましたが、班員が協力して取り組み、何とかカレーライスを食べることができました。キャンプファイヤーでは、みんなで盛り上げながら、ゲームや各班のスタンプを楽しみました。「光の舞」や午後の活動で作った「ランタン」は、暗いなかでとてもきれいに見えました。「助け合い」が随所に見られ、い出の残る行事になりました。



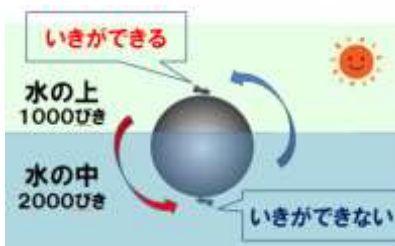
ナイル川を渡るアリ

～11月2日 校長講話より～

・・・このナイル川をアリの大群が渡るそうです。ここで大きな問題があるのですが、実はアリは泳げません。では、どうやって川を



渡るのでしょうか。川に着くまで、長い行列をつかって歩いてきたアリたちは、川に来ると次々に重なり合ってボールのような大きな塊になっていきます。その数は3000匹を超えます。この丸い塊は決して水に沈まず、上側の3分の1が浮かび出るのは、しかしこのままでは、水の上にいるアリは生き残ることができても、残りのアリは水中で息ができずに死んでしまうこととなります。



ですが、ここからが、このアリたちの凄いところ。少しの間であれば水の中にも大丈夫なので、交代しながら水の中にもぐったり、水の上に浮かんで息をしたりします。このようにしてアリたちは、あの大きな川を、ほとんど犠牲を出さずに移動してしまうのです。

東部小学校の子どもたちも、自分だけ楽しようとせず、みんなで「助け合い」「協力して」、すばらしい学校にしていって欲しいと願っています。来週の土曜日には、運動会があります。ここからいよいよ仕上げの練習に入ります。みんなで力を合わせて、すばらしい運動会にしていきたいと思います。